

# 令和元年7月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年8月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,365億円余
2. 前年同月比	-2.7% (4か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.3%(90.7%) : 非店頭4.4%(9.3%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (令和元年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	835,418㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,214人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、2-4月 -0.2%、 3-5月 -0.6%、4-6月 -1.2%、5-7月 -1.9%

[参考] 平成30年7月の売上高増減率は-4.5%

### 【特徴】

- (1) 7月の東京地区は、入店客数(3.8%減/2か月連続)、売上高(2.7%減/4か月連続)ともにマイナスした。各社が企画したファミリーイベントや各種施策が好評で集客効果のあった店舗も見られたが、梅雨明けが昨年より約1か月遅れたことによる低温と記録的な日照不足の影響を大きく受け、主力の夏物衣料やUV関連アイテムの動きが低調だった。
- (2) インバウンドと高額商材は引き続き増勢で、高級時計などが好調だった美術・宝飾・貴金属(13.1%増/6か月連続)が二桁伸びと高伸し、雑貨トータル(2.3%増)でも6か月連続プラスとなった。化粧品(0.1%減)は、品薄感から2か月連続マイナスとなったものの、前月より4.3ポイント回復し、前年並みまで戻している。
- (3) 食料品(0.1%増)は、惣菜と、自家需要・手土産需要ともに好調だった菓子が牽引し、3か月ぶりにプラス転換した。一方、生鮮食品はマイナスが続いている。
- (4) 衣料品(8.7%減)は、天候与件から半袖ワイシャツ、カットソー、ブラウスなど軽衣料の動きが鈍かったが、ジャケット、ブルゾンや、トレンド感のあるスカートなどには動きが見られた。また、子供服・洋品はベビー用品が堅調で10か月ぶりにプラスに転じた。
- (5) 今夏2回目となる『プレミアム サマー バザール』は、下旬の気温上昇も相俟って、期間中の客数・売上とも前年を超えた店舗が多く見られた。中元商戦は、店頭受注の減少をWEB受注でカバーする構図でほぼ前年並みに推移した。
- (6) 8月中間段階の商況は、1.0%増(8/15)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)  
①増加した:4店、②変化なし:4店、③減少した:10店
- (3) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数13店舗)  
①増加した:0店、②変化なし:4店、③減少した:9店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年7月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>136,594,306</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.7</b>
紳士服・洋品	9,670,570	7.1	-5.2
婦人服・洋品	21,482,395	15.7	-11.4
子供服・洋品	2,284,813	1.7	0.6
その他衣料品	2,505,715	1.8	-5.6
<b>衣 料 品</b>	<b>35,943,493</b>	<b>26.3</b>	<b>-8.7</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>19,507,127</b>	<b>14.3</b>	<b>-3.6</b>
化粧品	13,646,737	10.0	-0.1
美術・宝飾・貴金属	10,398,983	7.6	13.1
その他雑貨	5,444,451	4.0	-8.8
<b>雑 貨</b>	<b>29,490,171</b>	<b>21.6</b>	<b>2.3</b>
家 具	1,879,706	1.4	22.8
家 電	830,550	0.6	26.6
その他家庭用品	3,215,166	2.4	-6.9
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,925,422</b>	<b>4.3</b>	<b>5.0</b>
生 鮮 食 品	5,366,309	3.9	-2.9
菓 子	10,505,246	7.7	3.4
惣 菜	7,404,742	5.4	0.8
その他食料品	13,972,336	10.2	-1.6
<b>食 料 品</b>	<b>37,248,633</b>	<b>27.3</b>	<b>0.1</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,008,241</b>	<b>2.2</b>	<b>-11.0</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,937,582</b>	<b>1.4</b>	<b>-1.6</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,533,637</b>	<b>2.6</b>	<b>-4.0</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	3,565,748 千円	-3.3
従業員数	17,214 人	-4.5
店舗面積	835,418 m <sup>2</sup>	-0.7
営業日数	31.0 日	前年 31.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が6か月連続、食料品が3か月ぶり、家庭用品が11か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が9か月連続、身のまわり品が4か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、菓子が11か月連続、美術・宝飾・貴金属が6か月連続、惣菜が5か月連続、家電が2か月連続、家具が2か月ぶり、子供服・洋品が10か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-2.7</b>	<b>-</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-5.2	-0.4	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-11.4	-2.0	5か月連続マイナス
子供服・洋品	0.6	0.0	10か月ぶりプラス
その他衣料品	-5.6	-0.1	5か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-8.7</b>	<b>-2.4</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-3.6</b>	<b>-0.5</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
化粧品	-0.1	-0.0	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	13.1	0.9	6か月連続プラス*
その他雑貨	-8.8	-0.4	6か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>2.3</b>	<b>0.5</b>	<b>6か月連続プラス</b>
家具	22.8	0.2	2か月ぶりプラス
家電	26.6	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	-6.9	-0.2	13か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>5.0</b>	<b>0.2</b>	<b>11か月ぶりプラス</b>
生鮮食品	-2.9	-0.1	10か月連続マイナス*
菓子	3.4	0.2	11か月連続プラス*
惣菜	0.8	0.0	5か月連続プラス*
その他食料品	-1.6	-0.2	2か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-11.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>11か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-1.6</b>	<b>-0.0</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-4.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-3.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>10か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>